

大すきな野きゅう

小・3 成瀬 瑞希

ぼくは、野球が大すきです。見るのもやるのも大すきです。中日ドラゴンズが大すきです。しよう来は、野球せん手になりたいです。だからいつも野球の練習をしています。

平日は、お母さんとキャッチボールをします。始めたころはお母さんの方が上手だったけど、今はぼくの方が上手です。お母さんよりも速いボールが投げられるし、遠くまで投げられるようになりました。受けるのも上手になりました。お母さんは、ぼくが上手にキャッチすると、いつも、

「上手だね。昔の中日のいばたせん手みたいだよ。」

と言ってもらい上げてくれるから、ぼくは何だかできてしまいます。でも、うれしくてがんばれます。

休みの日は、お父さんに相手をしてもらいます。キャッチボールから始めて、打つ、投げる練習をします。しゅびの練習もします。お父さんの投げるボールは速いから、キャッチすると、バシッと大きな音がして、グローブをしているのにいたいくらいです。ぼくがトンネルしたり、高いボールが取れなかったりすると、

「下手だなあ。京田せん手はそんなプレーしないぞ。」

と言います。なかなかほめてくれませんが、ときどきむずかしいボ

ールをうまくキャッチできると、

「ナイスプレー！」

と言ってくれるからすごくうれしいです。

ぼくは、お父さんとやるときはいつも、大すきな中日ドラゴンズの青いぼうしをかぶります。投げるときは、勝りつ四わり一分三りの高橋ひろとせん手、打つときは打りつ二わり四分一りんの石川たかやせん手になったつもりで練習しますが、なかなかうまくいきません。でも、やめたいと思ったことは一度もありません。雨の日は練習ができなくて、

心の中でおこれてしまいます。

少し前からかたいボールで練習を始めました。やわらかいボールで練習していたときは、

お父さんの投げたボールでもホームランを打つことができいました。でも、かたいボールにかえてからは、打てなくなっていました。バットのしんに当たっても、ボールが高く上がらず、遠くまでとびません。全部弱いゴロになってしまいます。お父さんに、

「このボールでホームランを打つには、みず

きの体もつと大きくなって、力をつけな

いとむりだぞ。」

と言われました。ぼくは体が小さくて細いです。きらいな食べ物も多いです。お父さんと

お母さんに、

「たくさん食べないと大きくなれないよ。大

谷せん手は一九〇センチもあるんだよ。」

と言われました。WBCで見た大谷せん手は本当にかっこよかった

です。投げるのもすごいけど、ホームランがとく大で、見ていて気持ちいいです。野さいは食べたくないけれど、大谷せん手みたいなホームランが打てるように、すききらいなくごはんを食べるようにします。早くお父さんのボールをホームランで打ち返せるようになります。

この前、新しいグローブを買ってもらいました。いとこのお兄さんからもらったグローブがぼろぼろになってしまったからです。ぼろぼろになったグローブを見て、お父さんが

「みずきがたくさん練習したしょうこだね。」

いつもがんばってるもんね。」

と言いました。新しいグローブはかたくて、まだ使いづらいです。

早くぼくの手にぴったりなじむように、このグローブでもたくさん練習して、もっともっと野球が上手になりたいです。

ぼくは、野球が大すきです。